

# 広島西南 ロータリークラブ 会報

No. 1306号



ガバナー公式訪問フォーラム



2025-2026 RI Message

2025年 **11** 月

ロータリー財団月間



# ガバナー公式訪問卓話 11月25日

皆さん、こんにちは。本年度ガバナーを務めます、東広島21RCの土肥慎二郎です。どうかよろしくお願いします。先月の地区大会では大変お世話になりました。広島西南RCからは、35名の方にご登録をいただきましたこと、感謝を申し上げます。おかげさまで、無事、大会を終えることができました。また、公式訪問がこのように遅くなってしまったこと、お詫びを申し上げます。

さて、広島西南RCは1986年9月9日に、広島西RCをスポンサーとして創立されたと聞いております。その年度のRI会長は、フィリピンのカラスさん、テーマは「ロータリーは希望をもたらす」でした。

国際大会において、「他人の人生に“希望”という花を咲かせる人は、自分自身も豊かにする」そのように言われました。

ところが、今年度より国際ロータリーは、RI会長のテーマを廃止しました。理由は簡単です。2017年に発表したロータリーのビジョン声明とそれを実現するためのロータリーの行動計画がなかなかクラブに浸透しないからです。最近3年間のRIテーマです。

2022-23年度 佐藤会長 ジェニファー  
イマジン・ロータリー  
2023-24年度 杉本会長 ゴードン  
世界に希望を生み出そう  
2024-25年度 徳納会長 ステファニー  
ロータリーのマジック

このようにRI会長が毎年違うテーマを出され、それに則ってクラブを運営する、これではいつまでたっても「ロータリーのビジョン声明」が浸透するはずがないのです。2000年ごろより、世界のロータリアンの数は減り続けています。そして毎年16万人が入会して、17万人がやめている、しかもそのうちの2万人は入会3年未満の会員である、このような現実があります。これに危機感を覚えた国際ロータリーは、組織に問題があるのでは…と考えました。なんで会員は辞めちゃうんだろう？ なにが物足りないのだろう？そして全会員からアンケートを取り、専門家の意見も取り入れ、今後ロータリーという組織がどのような組織になったらいいのかを謳ったのがこの声明です。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取りあって行動する世界を目指しています。」

わたしは、この声明のポイントは2点あると思います。

ひとつは、ロータリアンが手を取り合って行動すればもっと素晴らしいことができる、ということ。

そしてもう1点は、自分自身の中で…という部分、これが私は一番重要なポイントだと思っています。

札幌東RCに塚原さんというパストガバナーがおられるのですが、次のように言っておられます。

「ロータリーは困っている人を助けてあげることだと思いがちですが、実際は助けられているのは自分の方かもしれません」 みなさんどう思われるでしょうか？

そしてこのビジョンを実現するために「ロータリーの行動計画」が発表されました。

この行動計画は4つの優先事項からなっています。「より大きなインパクトをもたらす」

これだけを読みますと、多くの人はポリオの根絶をはじめとする規模の大きいプロジェクトを想像されるのではないかと思います。そして「クラブ単独でそんなに大きなことはできないよ」そのように思われる方もおられるかもしれません。

ところが、ここでいうインパクトとは規模や成果の大きさを表しているものではありません。ロータリーの行動計画でいうインパクトとは、そのプロジェクトが、いかにその人たちの人生を変えたか？ということなのです。

昨年度国際ロータリーのアーチック会長は、ダイエットを例にしてこのように言われました。ダイエットにおいては、体重が何キロ減ったのか？というのが大切なわけではありません。いかに健康になったか？ということが大切なのです。

そのように考えますと、我々ロータリアンが行なう地域の地域社会への様々な活動は、どれもが、意義深い、インパクトのあるものになり得ると思います。

広島西南RCでは、長年続けてこられた「水保全プロジェクト」、平和公園での清掃活動、広域公園、宮島での環境保全活動、心臓病の子供の支援、その他多くの活動をされています。これら地域に密着した活動に加え、海外でも数々のご奉仕をされていますこと、敬意を表します。

続いて「参加者の基盤を広げる」ですが、これはその名の通り会員を増やすことです。西南クラブでは、地区内唯一の衛星クラブを立ち上げ、地域社会にいいことをする仲間を増やしておられます。また10年会、会員歴の浅い方々と懇親を深めるとともに、ゲストを呼んで会員候補者を募る、そういったご努力を続けておられますこと、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

それから「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」これも、会員増強にもつながる話だと思いますが、要は「会員がクラブに何を求めているか？」ということを実際に考えなければならない、という事だと思っています。

ロータリーって組織は結構アンケートが好きで、あちこちでアンケートをとっています。会員がロータリーに求めるものとして、国によって違いがあるそうです。日本においては最も多かったのが「親睦」でした。それがアメリカでは「倫理観」です。世界全体でみると「情報の透明化」これが最も求められているこ

とのことでした。

それから日本のロータリアンに「あなたにとってロータリークラブの価値とは何ですか？」と聞いてみたそうです。皆さんはどう答えますか？

一番多かったのが「自己研鑽、学習、成長」だったそうです。2番目は「地域社会への貢献」3番目は「生涯の友人、そして魅力的な仲間」だったそうです。

それから年齢別での傾向として、若い会員は「人脈が広がる、とか、事業の機会がアップする」これを求めているのに対して、比較的高齢の会員さんは「生涯の友人、魅力的な仲間」これを求めている傾向があったようです。世代間のギャップということを考えるうえで、参考になるかもしれません。

それからDEI、ロータリーでは、会員一人一人にとって、居心地がよく、帰属意識が持てるクラブ運営が何より重要だと考えております。しかしながら、現時点では、アメリカの大統領の方針にて、アメリカのイリノイ州の法人であるRIとRFでは、DEIという言葉は使わないようにしているそうです。

そして、この声明に基づいて、昨年度国際ロータリー会長エレクトだった、ブラジルのマリオさんが、このメッセージを発表しました。

「よいことのために手を取りあおう」

現在、ロシアとウクライナが戦争をしています。イスラエルとハマスもそうです。このような分断されがちな昨今において、「一緒に手を取りあって、いいことをしましょう！」そういったシンプルかつ力強いメッセージだと思います。

ところが突然6月に会長エレクトを辞任されました。理由はよくわからないのですが、相当な事があったのだと思います。

そして、新しい会長としてイタリアのフランチェスコ・アレツォさんが就任されました。「継続性」を重要視するRI理事会は、年度メッセージの変更をしませんでしたが、私はこの新会長よりメールをいただいたときに、大変驚きました。

前任者のマリオさんは、何が何でも「会員増強」、その重要性を述べられておりました。ところがアレツォ会長は、「会員同士の信頼と友情」、それが大切だと言っています。そして地区ガバナーやクラブの指導者に、ロータリーの中では謙虚さ、とか人間性、思いやり、そう言ったことでリーダーシップを発揮してください、そのように言われました。

西南ロータリークラブでは、その全文を事業計画書に載せていただいております。あらためて感謝を申し上げます。

さて話は変わりますが、ロータリーが誕生して今年で120年が経過しております。ロータリーを作った人は、ポールハリスという青年弁護士でした。アメリカのシカゴという街で、弁護士事務所を構えて商売は繁盛していました。しかしながら弁護を依頼してくる人は、私利私欲のために嘘をつく人ばかりだったので、そんな人たちを相手にしているのが寂しくなったそうです。

そこで業種の違う人たちを集めて、社交クラブを作りました。会場を一定にせず、場所を変えて例会を開いたのでロータリーと名づけられました。

ロータリークラブに集まる人は、事業家や職業人なので、話題は商売の話が中心になります。しかしながら一業種一人なので競争がなく、会員は他人とは思えないくらいに仲が良くなり、お互いの恥を平気で話し合って、困ったことは相談しあう、慰めあう、進んでお互いを助け合う、そのような親睦が生まれました。さらには会員同士の利益を目的としての商業取引も行われるようになったそうです。

当時の定款には、クラブの目的は「会員の親睦と事業拡大の増進」と書いてあったそうです。しかしある日、この定款を見たある人がこのように言いました。

「こんな仲間だけのことを考えているだけのクラブは長続きしませんよ。会員以外の人たち、そして地域社会に役に立つことをした方がいいでしょう。それなら私も喜んで入会しますよ」そのように言ったそうです。

これを聞いたポールハリスは定款に「シカゴ市の最大の利益を図り、市民として忠誠を尽くす」という一文を追加しています。

そしてクラブが最初に行った活動が、シカゴ市への公衆便所設置運動でした。当時のシカゴにはお客さん用のトイレが、百貨店もしくはバーくらいにしかなかったそうです。そこで、トイレを使いたい通行人は、百貨店で何かを買うか、バーで一杯ビールを飲む必要がありました。そこでポールハリスは、抵抗する団体を抑えて市内2か所に公衆便所を設置しました。そのおかげで多くの市民が安心してトイレを使うことが可能になったわけです。

このようにロータリーの最初の奉仕活動は、単に金銭を渡すだけではなく、市民生活に影響を与えるような、いわゆる地域社会に「インパクトをもたらす」活動だったのです。

奉仕、サービス、という言葉をもっとロータリーに持ち込んだのは、シェルドンという人です。経営学者であった彼は次のように言っています。

自分の事業が発展するためには、自分のもうけを優先するのではなく、まずお客さんのことを考えてください。そして、その得られた利益は自分が独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分すること、そうすることで最終的には継続的な事業の発展につながるようになります。

これを「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」という言葉で表現しました。

この職業奉仕を実践することによって、ロータリーの会員の職場は活気を取り戻して、成功者も多くなり、ロータリアンは信念を持つことができました。

そして「利他の心」をもって行動することは、単に職業を成功させるだけではなく、社会をも良くする、のちに「超我の奉仕」という言葉が生まれました。

この2つの言葉をロータリーでは「奉仕の理念」と呼んでおります。

これが初期のロータリー思想の歴史ですが、この「奉仕の理念」を実践しようとしたロータリアンを紹介いたします。

それはカーネル・サンダースさん、皆さんご存じのケンタッキー・フライド・チキンの創業者です。

1920年、29歳の時に、アメリカ、インディアナ州の



ロータリークラブに入会しました。そこで「他の人に最高のサービスをする人が、最も利益を得る人だ」ということを学びます。そして、その後ケンタッキー州にうつり、ガソリン・スタンドの経営を始めました。

当時のケンタッキー州は道路が舗装されておらず、車はどれも埃まみれで走っていたそうです。そこでサンダースさんは、車が店に来ると、まず車の窓を洗うことにしました。そして、ラジエーターの水やタイヤを点検して、最後に「ガソリン入れましょうか？」と聞いたそうです。当時そういうサービスはほとんど無かったようですが、彼は、道を聞くためだけに店に入ってきたお客さんにもそのようにしたそうで、これが評判となり店は繁盛しました。

それでも、なおサンダースさんは「来る人にもっと喜んでもらえること」を常に考えていました。ある日、お客さんのほとんどがおなかを減らしていることに気づきます。「車にガソリンが必要なように、お客さんにはおいしい食事が必要だ」そのように考えました。そして「サンダース・カフェ」という、たった6席しかない、小さなレストランを併設しました。

元々、彼は料理が上手だったそうです。なぜかというところ6歳の時に父親を病気で失い、働きに出ていた母親の代わりに小さい弟と妹の面倒を見ていたからです。料理の方法や味付けのコツを子供のころより母親から学んで、家族のために料理を作っていました。

そして単に料理が上手だけではなく「人が喜ぶ料理を真心を込めて作る」という信念を持っていました。シェフの仕事のみならず、洗い場、レジ係を一人でこなし、店には「おいしくなかったらお代は結構です」とまで書いてあったそうです。特にフライド・チキンは人気があり、それが美味しいということで店は繁盛したそうです。

さらに人に喜ばれるために考えたのがモーターでした。「旅行者は安心して心地よく泊まれるところを探している」ということで店のそばにモーターを作りました。

また仕事以外でも、他人に喜ばれることが生きがいだったサンダースさんは、街の孤児院をたずね、恵まれない境遇の子供たちにアイスクリームやお菓子の提供をしています。特にクリスマスの日にはターキーを料理して毎年のように訪問していたそうです。

サンダースさんが救ったのは子供だけではなくありません。アルコール中毒患者の更生にも積極的に取り組んでいます。時にはアルコールを絶たせるために自分のモーターを使わせたこともあったそうです。

こういった功績から44歳の時、ケンタッキー州知事から、カーネル、陸軍大佐の名誉称号を受けました。

このように「一生懸命働き」そして「人の喜ぶことを真心を込めてした」サンダースさんですが、良いことばかりではありませんでした。

49歳の時、レストランが火事で全焼してしまいます。また65歳の時には、近くに高速道路ができたために店の客さんが減り、店が破産してしまいます。

たくさんの奉仕をしたにもかかわらず、結局は報われなかったのです。

さて彼はどうしたのでしょうか？

このまま年金生活になる方法もありましたが、最後まで一生懸命働くことを選択しました。

彼にはフライド・チキンが残っていました。評判の良かったフライド・チキン、その作り方に改良を加えました。そして圧力釜を用いて、彼にしかできないフライド・チキンを完成させました。

そしてそれをレストランで提供するのではなく、作り方だけを教えて、各レストランのメニューとして出してもらう、そしてチキン1ピースにつき数セントのロイヤリティをもらう、というまさにフランチャイズ契約のはじまりともいえる事業を始めました。

最初はなかなか契約が取れなかったそうですが、彼にはチキンへの絶対的な自信がありました。1軒1軒店を回って根気よく説明し、納得の話し合いができれば契約したそうです。

時には自分からパスする店もありました。調理場が清潔でない店や、サービスの行き届いていない店とは契約しませんでした。

そこで用いた原則が、次のことです。

そのビジネスに嘘偽りはないか？

そのビジネスは関係するすべての人に公平なものか？

そのビジネスは良好な人間関係を作っていくものか？

そのビジネスは関係するすべての人にとって有益なものか？

どこかで聞いたことがあるテストです。

こうして1年間で7つの店と契約を結び、すべての店が大繁盛します。

すると今度は店のほうからサンダースさんへ連絡が来るようになり、4年後にはアメリカで200店舗、さらに5年後には600店舗となり、アメリカ最大のフランチャイズレストランとなりました。

こうして65歳の時にすべてを失った人が、ケンタッキー州で最も有名な人といわれるまでになりました。

彼は晩年のインタビューで「あなたが得たもので一番うれしかったことは何ですか？」と聞かれた時に「孤児院の子供たちが私をサンタクロースのように慕ってくれたことです」と答えています。

先日、この、世界で最も有名なロータリアンと2ショットを撮りました。彼の胸には私と同じロータリーのバッジがついていました。みなさんもケンタッキー・フライド・チキンに行ったときは見てみてください。

さて話は変わりますが、現在、国際ロータリーの最優先事項はポリオの根絶です。「あと少し」といわれて数十年が経っておりますが、私はこの活動を支持しています。なぜなら、医学的に根絶が可能だからです。

ポリオの原因となるウイルスは人の中でしか生きられません。ですから、一旦根絶してしまえばこの地球上からなくなります。

ポリオワクチンには2種類あり、口から飲ませる経口のものと、ウイルスの毒性を減らしたものを注射で投与するものがあります。日本でも2012年まではこの経口ワクチンを使っていましたが、今ではより安全な注射での投与をしています。パキスタンのような貧乏な国ではまだこの経口生ワクチンを使っています。

1本が3ドル、40滴の量があります。一人2滴飲ませるので、20人分となります。一人当たり20円くらいになります。

パキスタンの出生数は年間630万人であります。日本の9倍です。死亡率も高く、新生児死亡は1000人当たり40人、25人に一人は亡くなる計算です。それでも5歳以下の子どもは推定で4400万人といわれています。しかもちゃんとした戸籍のようなものはありません。

そこでは「見つけたら片っ端からワクチンを飲ませる」という方法をとっています。これは高速道路でのバスの中での投与です。バスのすべてを軍が止めて、ワクチンを飲ませることが義務づけられています。3人でチームを組んでバスに入っていきます。

写真の後ろには、銃を持った軍人がいます。こうやって私たちを守ってくれているのです。

バスの中の様子です。左側がワクチンを飲ませているところ、右が指に印をつけているところです。

こうやって投与が済んだ子供の左の小指にマジックで印をつけていきます。

そして印のない子を見つけてはワクチンを飲ませる、こんな原始的なやり方でワクチンは投与されています。

ワクチンの投与は、バスや列車の中であるものもありますが、多くは戸別訪問、家に直接出向いて投与をしています。

イスラム教では、家族以外の男性は家に入ることができないので、女性が多く活躍しています。彼女たちのようなワーカーがパキスタンには40万人おられます。

パキスタンでは、宗教的な理由でワクチンを拒否する家族もおられます。特に過激な思想の人はワクチンを西側のものとして毛嫌いされる人もいます。悪態をつかれたり、突き飛ばされたり、殴られたり、時には殺されることもあるそうです。

そんな危険なところで、1日8時間、週5回働きます。給料は1か月22000円です。それでも皆、誇りを持ってこの仕事をしています。ジェンダーギャップ指数というのがあります。これは男女格差を数値化したものですが、パキスタンは148位と“ドベ”でした。そういった中で、ポリオワーカーとしての教育を受けることができたこと、そしてこの仕事が自分の国の子供たちの役に立っていること、それが彼女たちの献身的な活動のモチベーションとなっています。

チーム・ポリオ・ジャパンのメンバーです。驚いたことに、パキスタンにチームとして入っている国は、しばらく日本以外にありませんでした。今は、フランスやベルギーからも入っています。大体15名くらいのメンバーで、年10回、我々日本の仲間が前線で頑張っています。

ただ私は、この活動に参加して思ったことがあります。その一つは、やはりワクチンを正確に子供に投与するのが自分は下手だなあ、ということです。

プラスチック製の容器がほろいこともあって、2滴びったり落とすのはコツが要ります。ポリオワーカーの方は約1秒で投与するのに、私のような素人は時に10秒以上かかったりします。下手をすると、何滴も投

与してワクチンを無駄にすることもあります。私が社会に貢献する一番の方法は、ここではなくて、自分の職場なのだと改めて思いました。

それから、日本に帰ってきて思ったことがあります。それはポリオを根絶できたら、とてもいいことがあるということです。

先日の報道で、日本の出生数が70万人を切った、というニュースがありました。それでもポリオがあるうちは、ワクチンとして一人20000円かかります。日本ではより安全な不活化ワクチンを投与するからです。70万人いれば140億円、もしポリオが根絶されれば、毎年それだけ浮くことになるのです。

そしてこの人たちは、インドでポリオに感染した人たちです。歩くことも困難で、物乞い以外の職業に就くことはできません。ポリオを根絶して、このような子供のない世界を目指したい、そのためにも、これからも皆さんのご協力をお願いいたします。

10月18日の日経新聞全国版です。ポリオ根絶にロータリーが取り組んでいることを紹介しています。

ロータリーでは、これまであまり活動を宣伝しなかったのですが、最近では周りの方を巻き込む意味でも、このような広報にも力を入れるようになっていきます。

ところで、シカゴにある国際ロータリーの本部の会長室にはこんなものが置いてあるそうです。

「ロータリーに参加する10の理由」とあります。

奉仕する機会、とか自己の成長、とか友情とかありますが、最後にあるのが「楽しい」であります。

私の今年度の願いは、「地区の皆さんがロータリーを楽しむこと」です。「ロータリーを楽しむ」ということは、ロータリーを知ることだと思います。皆様のクラブの例会を魅力ある価値のあるものにする、ことだと思います。クラブで楽しいイベントを企画する、ことだと思います。いろいろな奉仕活動、その達成感を楽しむ、ことだと思います。次の世代の若者たちの成長を楽しむ、ことだと思います。そして、最終的には「世界の平和」という大きな夢を描いていただきたいと思っています。

私自身も1年間ガバナーを楽しみたいと思います。

その一つとして、先日「世界ポリオデー」を開催いたしました。「下関海響マラソン」において、揃いのEND POLIOのTシャツを着て、多くのロータリアンと走りました。

西南RCからも、杉川PGや、宮崎会長、田中幹事、水谷会員にお付き合いいただきました。

ありがとうございました。

最後のスライドです。

「よいことのために手を取りあおう」

広島西南ロータリークラブの今後のますますのご発展を祈念して、話を終えたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



1986-87年度 RI会長テーマ  
ロータリーは希望をもたらす  
M.A.T. カバラス (フィリピン)



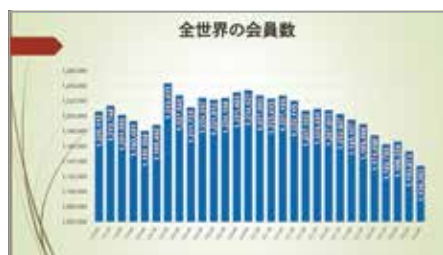
ロータリーの誕生 1905.2.23





クラブの目的 (定款)

1. 会員同士の親睦
2. 事業の発展  
(物質的相互扶助)
3. シカゴ市の最大の利益を図り、  
市民としての忠誠を尽くす

シカゴ市内に公衆便所を設置



や、ひとりの感染を防ぐ  
世界からなくろうとしている。



ロータリーのビジョン声明

私たちは、  
世界で、地域社会で、  
そして自分自身の中で、  
持続可能な良い変化を生むために  
人びとが手を取りあって行動する世界を  
目指しています

奉仕の理念

「最もよく奉仕するもの、  
最も多く報われる」

「超我的奉仕」

「ロータリーに参加する10の理由」



奉仕する機会  
リーダーシップ開発  
世界の右翼たること  
ビジネス上の発展  
教育の促進  
個人の成長  
金銭  
地域社会の市民たること  
友情  
楽しい

ロータリーの行動計画

優先事項

- 1 より大きなインパクトをもたらす
- 2 参加者の基盤を広げる
- 3 参加者の積極的なかわりを促す
- 4 適応力を高める

カーネル・サンダース  
(ジェフアーソンビルRC)



ガバナー信条

Enjoy Rotary

～思いやりと奉仕の心で～

2025-26年度 RI会長メッセージ

「UNITE FOR GOOD」



よいことのために  
手を取りあおう

そのビジネスに嘘偽りはないか？

そのビジネスは関係するすべての人に公平な  
ものか？

そのビジネスは良好な人間関係を作っていく  
ものか？

そのビジネスは関係するすべての人にとって  
有益なものか？

下関海苔マラソン ポリオ奉仕デー



RI会長  
フランチェスコ・アレツォ (イタリア)



ポリオ根絶運動



ロータリー活動の主体はクラブです



よいことのために  
手を取りあおう

# 会長時間

第1789回例会 11月4日

「表現の自由と愛国心」

—RADWIMPS『HINOMARU』をめぐって—

皆さんこんにちは。今日は「表現の自由と愛国心」について考えてみたいと思います。

2018年、人気バンドRADWIMPSが発表した『HINOMARU』という曲を覚えておられる方もいるかもしれません。

## HINOMARU RADWIMP

風にたなびくあの旗に古（いにしえ）よりはためく旗に  
意味もなく懐かしくなり こみ上げるこの気持ちはなに  
胸に手をあて見上げれば 高鳴る血潮、誇り高く  
この身体に流れゆくは 気高きこの御国の御霊  
さあいざゆかん 日出づる国の御名の下に  
どれだけ強き風吹けど 遥か高き波がくれど  
僕らの燃ゆる御霊は挫けなどしない  
胸に優しき母の声 背中に強き父の教え  
受け継がれし歴史を手に恐れるものがあるだろうか  
ひと時とて忘れやしない 帰るべきあなたのことを  
たとえこの身が減ふとて幾々千代にさあ咲き誇れ  
さあいざゆかん 守るべきものが今はある  
どれだけ強き風吹けど 遥か高き波がくれど  
僕らの沸（たぎ）る決意は揺らぎなどしない  
どれだけ強き風吹けど 遥か高き波がくれど  
僕らの燃ゆる御霊は挫（くじ）けなどしない  
僕らの沸（たぎ）る決意は揺らぎなどしない

作詞：Yojiro Noda 作曲：Yojiro Noda

歌詞には「この身が減ぶとも守り抜きたいものがある」とあり、日本という国を想う気持ちが込められた内容でした。

ところが、この曲が「軍国主義的だ」「右翼的だ」と一部の人々から激しく批判され、最終的にボーカルの野田洋次郎さんは謝罪へと追い込まれました。

しかし、果たして本当に謝る必要があったのでしょうか。

自国を想い、誇りを歌うことは、本来どの国でも自然なことです。

アメリカでは国旗を掲げて歌うことが誇りであり、フランスでは祖国への愛を芸術の中で堂々と表現します。

それに対して、日本では「愛国」という言葉を口にするだけで、どこか「危険」と感じる風潮がいまだに残っています。

この“過剰な自己規制”こそ、自由な表現を窒息させる大きな要因ではないでしょうか。

芸術も言論も、国家に都合の良いことだけを言うためにあるわけではありません。

しかし、国を愛する気持ちを表すことまでが「政治的だ」と叩かれるのは、健全な社会とは言えません。

今の日本では「誰かを傷つけないこと」が「正しいこと」と混同されがちですが、真の自由とは、異なる考えを持つ人が共に生きる覚悟を持つことだと思います。

ロータリーの理念にも「多様性の尊重」「寛容と理解」が掲げられています。

相手の意見を排除するのではなく、「そう感じる人もいる」と受けとめ、対話を通じて理解を深める。

それこそが、私たちが次の世代に伝えるべき成熟した民主主義の姿です。

『HINOMARU』をめぐる騒動は、表現の自由がいかにもろく、同時にどれほど大切なものかを思い出させてくれました。

国を愛することと、表現の自由を守ること。その両方を大切にできる社会こそ、真に誇れる国だと私は思います。

第1790回例会 11月11日

「障害者の就労について」

皆さん、こんにちは。

本日は「障害者の就労」について少しお話ししたいと思います。

障害のある方の働き方には、いくつかの形態があります。

まず一つ目は「一般就労」です。

これは、通常の企業で健常者と同じ条件で雇用される形です。賃金や社会保険も同じで、まさに共に働く仲間として迎えられる形ですが、その分、職場の理解や合理的な配慮がとても重要になります。採用後の定着支援が大きな課題です。

二つ目は「特例子会社」です。

これは大企業が障害者雇用を進めるために設立する子会社で、障害のある方に合わせた職務や職場環境が整えられています。親会社の支援もあるので安定して働けることが多く、専門スタッフのフォローも充実しています。

そして三つ目が「福祉事業所」です。

就労継続支援A型やB型があり、A型は雇用契約を結んで最低賃金が保証されます。一般就労へのステップアップを目指す場です。B型は雇用契約ではありませんが、工賃という形で収入を得ながら、生産活動や社会参加を続けていく場になります。いわば「働く喜び」や「地域とのつながり」を支える大切な役割を果たしています。

このように、障害のある方の働き方にはいくつかの段階や選択肢があります。大切なのは、それぞれが「自分らしい働き方」を見つけられること、そして地域や企業、福祉が力を合わせて支えていくことだと思います。

す。

ロータリアンである私たちも、この社会の多様な働き方を理解し、共に支える心を大切にしていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

## 第1791回例会 11月25日

### 「ガバナー公式訪問の意味について」

皆さま、こんにちは。本日は、私たちのクラブにとってとても大切な日ガバナーの公式訪問にお越しいただきました。お忙しい中、2710地区ガバナーの土肥慎二郎様をお迎えできること、心より嬉しく思っております。

ガバナー公式訪問というのは、地区のリーダーであるガバナーがクラブの現状を直接見てくださり、応援やアドバイスをいただける、年に一度の貴重な機会です。クラブと地区、そして国際ロータリー本部をつなぐ、大切な「架け橋」の役割を担ってくださっています。

ですので、この訪問は決して“視察”にとどまりません。

私たちの活動がロータリーの理念に沿って歩めているか、一緒に確認しあいながら、これからのクラブの未来を共有する「対話の時間」だと考えています。そして何より、クラブの一人ひとりがロータリアンであることに誇りを持つ、良いきっかけにもなるはずです。

今日は、日頃の私たちの取り組みを改めて振り返りつつ、ガバナーからのお話を通じて、「自分たちの活動の意義」や「これからの方向性」について、みんなで考える時間にできればと思っています。

ところで、本日のガバナー登場曲は「ビー・マイ・ベイビー」。

吉川晃司さんと布袋寅泰さんによる、あの“コンプレックス”の名曲です。土肥ガバナーは吉川さんと修道学園の同級生というご縁があり、今年の地区大会でもこの曲でご登場されました。

“コンプレックス”という言葉は、日本では「劣等感」という意味で使われがちですが、本来は「複雑に結びついているもの」や「複合体」という意味も持っています。

そう考えると、私たちロータリアンもまた、お互いに良い影響を与え合いながら一つの力をつくっていく—そんな“良い意味での複合体”ではないでしょうか。

どうか皆さま、今日という時間を、学びとつながりを深めるひとときとして大切にいただければ幸いです。

本日もどうぞよろしく願いいたします。



## 掲 示 板

### 12月行事予定

❖12月2日（火）13：40～

第6回理事役員会

「ANAホテル広島4Fアマリス」



# 例会記録

第1789回例会

11月4日

12:30~13:30 ANAクラウンプラザホテル広島

## われらの生業

### 会長時間

#### お誕生日記念月記念品贈呈

佐藤愛以子 会員

毎年、特に変化もなく過ごしていますが・・・最近では会社で同じ年の方たちと接する事が多くなってきたので、そこで感じたことを話したいと思います。

年齢を重ねるほど、会社で同じ年の社員は減っていきましました。現在まで残っている社員は7名しかいませんが辞めることはないかなと思います。

同じ年っていうだけでも他の方たちより親近感があり、会話も多く近い存在になっています。社歴も長く、私にとっても大事な存在になっているので大事にしないと最近感じました。

余談ですが、息子からの誕生日プレゼントは美顔器でした。

いつまでも若々しくいたいと思います！



## 幹事報告

ロータリーレート変更の案内（149円→154円、11月より）。／12月16日（火）クリスマス家族例会案内・ロータリーの友誌配布の案内。／11月11日（火）例会後、事前クラブ協議会開催。／11月25日（火）ガバナー公式訪問フォーラム・11月29日（土）地区補助金事業開催の案内。それぞれ出欠未回答者は事務局まで連絡のこと。／例会終了後、第5回理事役員会開催。

## スマイルボックス

宮崎真 会長、岡田真規 会員、根石英行 会員

## 出席報告

会員数 64名 出席 47名 欠席 16名  
来客 1名 来賓 0名  
ゲスト 1名

## プログラム

### 外部講師卓話

#### 「農業から地球の脱炭素に貢献する」

株式会社ハラダファーム本多

代表取締役 本多正樹 様

最近ニュースで話題になっているお米ですが、広島県も日本三大酒どころとして日本酒の原材料のお米をはじめとした水稻栽培が盛んな地域です。しかし現在、世界規模では地球温暖化が進み、地域では過疎化、農業者人口の減少、離農から進む荒廃地化、新たな担い手（就農者）の減少傾向、物価高など、さまざまな課題を抱えてお



ります。

なぜこのような課題を身近に感じているかと申しますと、私自身、安芸高田市で（株）ハラダファーム本多という会社で水稻中心の農業経営もしており、中山間地域の現状を身近に感じているからです。

国産の農産物の減少は、毎日皆さまが食事として口にしている「日本の食」や「国土の保全」の低迷につながると感じております。

その課題を少しでも解決していくために（株）Rev0を立ち上げ、農業から地球の脱炭素化を進め、農業の持続可能性を向上させる、環境価値創出のプラットフォームの構築を目指しております。

そこで令和5年から、Jクレジット方法論として登録された水稻の栽培プロセスの「中干し」を1週間延長することで土壌からのメタンガスの排出抑制につながるため、農業由来Jクレジットの発行が可能となり、温室効果ガスの削減量が販売可能となりました。

そこで農業由来Jクレジットを活用し、企業様にJクレジットを活用いただくことにより、企業価値の向上、環境課題に解決、持続可能な農業の確立を進めることができます。

広島県では広島銀行様にJクレジットをご活用いただき、温室効果ガスのオフセットを通じて広島県の農業を応援していただいております。

中干し延長には水稻生産者にリスクもあり、お米における品質低下の課題があるため、課題解決のために広島県様、JA全農ひろしま様と共に圃場での試験を行い、データをもとに技術獲得、栽培指導でき、生産者も安心して取り組める環境も整えられました。

農業由来Jクレジットを通して、農業を多方面の方々に知っていただき、農産物の生産における大変さや感動、美味しいという喜び、そして理解を持つことによって、企業様と農業の繋がり、地域貢献や環境貢献、農業の持続可能性、ひいては食の未来や国土の保全に貢献できると考えております。このような脱炭素を手段とした農業からの地域資源の価値が都市部と中山間地域を繋ぐ可能性として持続可能な未来を作っていくと感じております。



ロータリー財団月間



## 奉仕の理想

## 四つのテスト唱和

## 新会員入会式

高田芳浩 会員

(推薦者 荒木攻 会員、徳納武使 会員)



会長時間

結婚記念月記念品贈呈

山下哲夫 会員

本日はお祝いをありがとうございます。

結婚して49年になります。よく続いたものと思っています。

私以上に妻もそう思っているでしょう。

年を取ると運とか天の定めとか感じることも多くなりました。

これからも淡々と過ごすつもりです。



## 幹事報告

西南の集いIN京都仮登録案内配布の案内。／11月25日（火）ガバナー公式訪問例会後13時40分～15時10分フォーラム開催。出欠未回答者は事務局まで。／12月16日（火）クリスマス家族例会開催。出欠未回答者は12月8日（月）までに事務局まで連絡のこと。／例会終了後、事前クラブ協議会開催。

## スマイルボックス

国際ロータリー第2710地区 グループ7 ガバナー  
補佐 田上剛 様、長野宏 会員、山下哲夫 会員、  
杉本清英 会員

## 出席報告

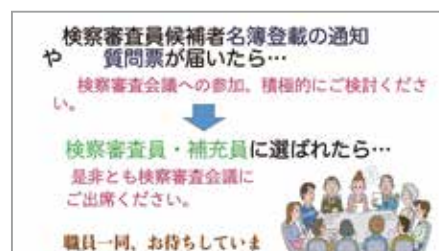
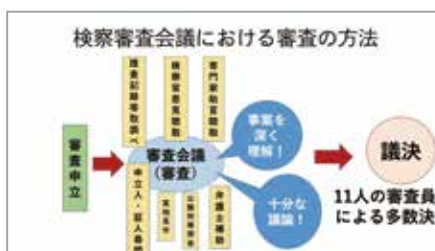
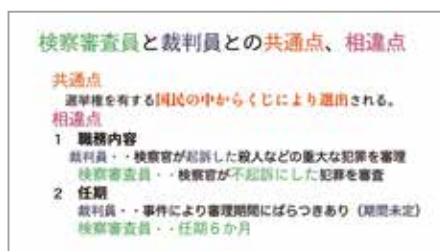
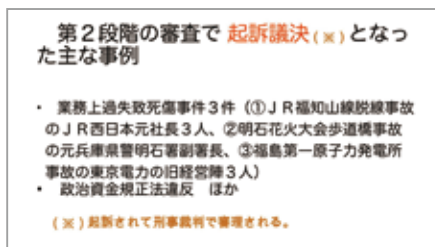
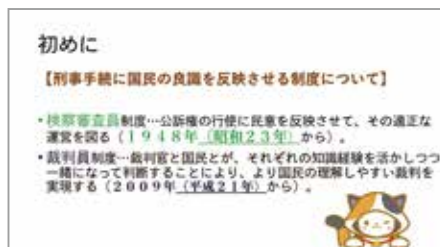
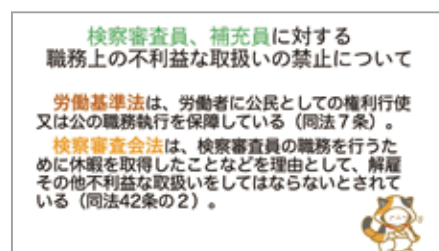
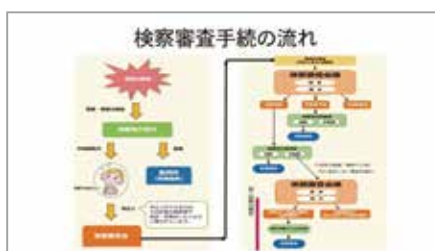
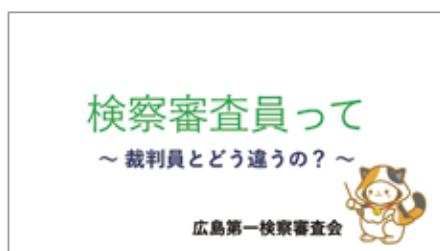
会員数 64名 出席 46名 欠席 17名  
来客 0名 来賓 1名  
ゲスト 1名

## プログラム

## 外部講師卓話

## 「検察審査会について」

広島第一検察審査会 事務局長  
小田勝彦 様







**第1791回例会** 11月25日  
12:30～13:30 ANAクラウンプラザホテル広島

### ガバナー公式訪問例会

それこそロータリー

会長時間

クラブ細則変更審議

幹事報告

会報・ロータリーカレンダー配布の案内。／12月9日（火）年次総会の案内。／1月20日（火）職場訪問例会の案内（回答は12月12日まで）。／2月15日（日）2025-2026年度IMの案内（出欠回答は12月16日まで）。／例会終了後、2710地区ガバナーによるフォーラム開催。

### スマイルボックス

国際ロータリー第2710地区 グループ7 ガバナー 土肥慎二郎 様、グループ7 ガバナー補佐 田上剛様、新井務 会員、上田直治 会員

### 出席報告

会員数 64名 出席 48名 欠席 16名  
来客 0名 来賓 3名  
ゲスト 0名

### プログラム

#### ガバナー卓話

2025-26国際ロータリー第2710地区ガバナー

土肥慎二郎 様



【巻頭に卓話原稿掲載】

### 11月の会員記念日

会員誕生日		結婚記念日		入会月		創業月	
橋本 幸範	2日	岡本 俊雄	3日	岩田 智博	H21年	徳納 剛	福德技研株式会社 S41年
深谷 泰之	10日	佐藤 克則	18日	伊藤 英彦	H25年		
佐藤暖以子	13日	石井 和彦	20日	漆原 健夫	H28年		
高田 芳浩	15日	山下 哲夫	21日	原屋 真吾	R4年	パートナー誕生日	
(11月4日入会)		長野 宏	22日	松尾 達憲	R5年		
岡本 泰明	29日	宮本 昇	22日	杉川 綾	R5年	佐々木 宏夫人	伸子様 20日
						曾里 裕夫人	麻美様 23日

## 広島県廿日市特別支援学校



## 阿品台分校へのイベント 協力事業活動報告

社会奉仕委員会 鍵岡 馨

11月29日(土) 10時半より当会から19名、衛星クラブから2名 総勢21名で寄贈品贈呈式とカフェ運営支援に行ってきました。

10時半集合でしたが10時前にはほとんどの会員が集合していて生徒たちの学園祭を堪能しました。宮崎会長の挨拶が終わったあと休憩をはさんでカフェの提供をしました。最初は3年生→2年生→1年生の順番で15分ずつ販売をしました。

生徒たちは2週間、コーヒーの淹れ方、蓋をしめる・コーヒーフィルターの交換の練習をしたので上手に出来る生徒が多かったですがお客様が思いのほか多くて30人ぐらいの長蛇の列になりましたが何事もなく提供することが出来ました。

今後も奉仕活動として引き続き行っていきたいと思いました。

## 芝楽会

同伴者の方々と  
ハンディに恵まれて  
優勝しました🏆

ありがとうございます🙏

上田直治



## 11月8日(土) 芸南カントリークラブ

順位	名前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	上田 直治	38	45	83	12.0	71.0
2位	山下 哲夫	45	40	85	10.0	75.0
3位	岩田 智博	46	53	99	22.0	77.0
4位	鍵岡 馨	47	57	104	26.0	78.0
5位	佐々木 宏	49	49	98	18.0	80.0
6位	室崎 雅宣	46	51	97	14.0	83.0

## 真倫倶楽部

### 11月例会



11/30(日曜日)、  
吉島ボートパークから、  
セトウチ8号で～

朝7時出航～倉橋島の  
大向にて釣り～  
カワハギ、鰻、石鯛、フグ、  
カサゴなど、大漁～

参加者(小川、前田、前田、  
佐古、沖井、上田)6名

今回は沖井会員が初参加～  
来年から入会希望～  
また来年から衛星クラブの  
溝部会員も入会希望～





## 10年会 11月18日(火) 豆匠

2025年11月18日、火曜日、18時30分から豆匠（東洋観光グループ）にて会員10名、ゲスト3名で10年会を開催し楽しい時間を過ごせました。10年会は10年付き合える仲間を作る事また10年未満の会員同士の親睦を深める事を主旨に開催しています。その中で当クラブに入会して貰える仲間を探します。次回は、1月に開催を予定しておりますので入会10年以上の方も挙ってご参加ください。



## 軽音楽クラブ 11月13日(木) nana



11月13日（木）18時からnanaで開催されました。

この日は西南ロータリークラブと衛星クラブからなるボーイズアンドガールズのみのメンバーで打ち上げを行い、生演奏にてライブと同じ演奏や歌を楽しみました。

新会員の本村さんの華麗なギターテクニックの披露もあり大変盛り上がりしました。

## スマイルボックス

11月4日

宮崎真 会員 台北新東RCとの交流ゴルフ参加者の皆様、下関市民マラソン参加者の皆様、大変お疲れ様でした。

岡田真規 会員 先週の経済レポートに弊社の業務用エアコンレンタル「ネクストR」の新サービスの開発記事が紹介されました。これまでのIoT技術を更にバージョンUPして日本初のサービスとなっていますので今後に期待して下さい。

根石英行 会員 合同勉強会のご案内で、パンフレットをお配りしています。12月8日月曜日午後2時から、外国人の雇用について、労務、法務、税務の観点から、社会保険労務士、弁護士、税理士がお話をします。会場、オンラインどちらでの参加も可能です。参加費は無料です。ご興味のおありになる方は、お申込みください。

11月11日

田上剛 ガバナー補佐 寸志をいただきました。

長野宏 会員 令和7年度消防設備関係功労者等表彰を広島県より当社が受彰させていただきました。

山下哲夫 会員 3ロータリーのゴルフ優勝できました。

杉本清英 会員 11月会費でロータリー財団の寄付をお願いしました。ご協力ありがとうございます。

11月25日

土肥慎二郎 ガバナー 御礼をいただきました。

田上剛 ガバナー補佐 寸志をいただきました。

新井務 会員 皆様のボックスに、「日本料理雲海・中国料理桃李の忘・新年会プラン」のご案内を入れさせていただきました。大切な方々との一年の締めくくりと新しい年の始まりのご会食にご利用いただければ幸いです。皆様是非ご利用くださいませ。

上田直治 会員 第2回在広RCミュージックフェスの売上の一部を宮島学園に寄贈した記事が写真入りで中国新聞に掲載されました。過去には少年Aで掲載されましたが、今回は実名で掲載されて良かったです。ありがとうございました。



## 2025-2026年度 第5回理事・役員会 議事録

日 時：2025年11月4日（火）13：40～  
場 所：ANAクラウンプラザホテル広島  
4F「アマリリス」

出席者：（敬称略：順不同）

宮崎 児玉 徳納 田中 栗田 伊藤 岡田

根石 山國 平原 小林 原屋

出席12名 欠席1名 岡本（倫）

### 開会挨拶

宮崎会長 →先週は台北新東RCとのゴルフ交流会、そして下関市民海響マラソンの2kmコースに参加し、仲間と楽しく汗を流しました。ロータリー活動は、スポーツや文化など多様な形で関われるのが魅力です。今後もそれぞれの得意分野を活かしながら、共に学び、楽しんでまいりましょう。

### 配布資料★印

### 審議事項

- (1)12・1月プログラム★田中（幹事）→承認
- (2)12月16日（火）クリスマス家族例会 招待者→過去5年以内に退会された元会員およびご家族を対象に招待する方針が承認
- (3)2月7日（土）にほん語教室 そば打ち体験事業★岡田  
→会場：紙屋町地下スイング 内容：会員による搬入作業（9時）、会長挨拶（10時半）、そば打ち体験（10時40分～13時半） 予算・スケジュール案が承認
- (4)クラブ細則の変更について★田中→例会回数を月2回以上とする柔軟な運営を可能にするため、細則に「理事会が正当かつ十分な理由により認めた場合、例会日及び会合方法の変更が可能」との文言を追加する案が承認。10日前までに各会員に書面にて通知（11日の例会でBOX配布）、25日の例会において全票の3分の2以上賛成にて決議

### 報告事項

- (1)10月度会計報告★根石（会計）→一般会計は順調に進捗。未収者は2名。スマイルは、補助金支出を除くと56万円の残高。予算的には問題なしとの報告。
- (2)合同幹事会の報告 田中（幹事）→インターシティミーティング：2026年2月15日（日）広島コンベンションホール／懇親会：シェラトンホテル・広島14RC合同懇親ゴルフ大会：2026年4月29日（水・祝） 広島カンツリークラブ／懇親会：ホテルグランヴィア広島・事務局のシュレッダー購入、危機管理委員会の設置とクラブ内卓話実施予定（2026年3月3日）
- (3)ロータリー国際大会参加申込状況★田中（幹事）→参加者：34名（目標達成）
- (4)事前クラブ協議会、ガバナー公式訪問★田中（幹事）→資料に沿って説明
- (5)地区補助金事業 廿日市特別支援学校（11月29日（土））★岡田（理事）→参加者：19名。事前贈呈式は11月27日10時より開催予定
- (6)40周年記念事業の進捗報告★児玉（副会長）→10月21日に第4回委員会が開催され、前向きな議論が行われました。次回委員会では、実施の可否について最終決定を行う予定です。委員の皆さまのご協力もあり、円滑に進行しております。また、能登半島支援については、

現地ロータリークラブより「今は対応が難しい」との連絡があり、一旦保留といたします。その代替案として、チャリティコンサートの開催を検討中です。約1,200人規模を想定し、収益金を支援金として活用する方向で調整しています。加えて、宮島の案内看板の整備や平和公園の活用についても、予算を踏まえながら今後議論を進めてまいります。

- (7)西南の会参加申込について★ 田中（幹事）→開催日：2026年1月20日～21日 20日：国立博物館見学（希望者のみ）21日：京都御所の参観、西南の集い交流会（夕方より）申込締切：2025年11月19日

### (8)その他、各理事役員報告

岡田（理事）→1月20日の予定に職場訪問が含まれており、田中食品さんへの訪問で調整中です。前回の訪問から約10年が経過しており、多くの会員が未訪問のため再実施の方向です。田中食品（株）広島工場 住所：広島県廿日市市市岐245-45（佐伯工業団地内）で依頼予定。根石（会計）→12月の総会で衛星クラブの報告がありましたが、会計報告については例年通り半期ごとの実施が必要かどうか確認。規則で明確に定められていない場合は柔軟に対応可能ですが、時間が確保できるなら10分程度で報告を行う方向も検討できます。昨年実施されており、形式的な報告でも意義はあると考えられます。

山國（財団）→米山奨学会関連では、2月17日に予定を押さえており、卓話の関係もあるため、長野委員長に現在確認中です。また、財団関係ではロータリー財団の件で米山奨学会支援を予定していた方がキャンセルとなり、寄付の状況については杉本会員に確認、依頼しているところです。

宮崎会長→先日台北新東RCとの懇親会で、今後は個別のお土産を控え、クラブ代表からまとめてお渡しする形に変更することで合意しました。来年6月の訪問時から実施予定です。持参・受け取りの負担軽減を目的とした実務的な対応ですので、ご理解をお願いいたします。

### 協議事項 なし

### 第6回理事役員会

12月2日 第6回理事役員会 13時40分～

場所：ANAクラウンプラザホテル広島

### 講評・閉会の挨拶

徳納直前会長 →出席率や事業の順調な進行について報告がありました。今後10年を見据え、若手会員の増強が重要、私自身も新規入会者の確保に努める方針です。また、松尾さんより退会届が提出され、推薦者の岡田さんとも確認のうえ、先月末で退会処理済みとの報告がありました。現在の会員数は一時的に減少していますが、来週以降の活予定者により回復見込みです。会員増強はクラブの活力維持に不可欠であり、今後もクラブを上げて積極的な取り組みが求められます。

児玉副会長、岡田理事 西南の集いの視察のため、京都へ移動（途中退席）

（議事録作成者：小林 伸行）

## 編集後記

今年も残すところ1ヶ月となりました。いつも原稿や資料提供などにご協力くださり感謝しております。ロータリーの理念である「超我の奉仕」は、日々の小さな行動の積み重ねであることを改めて感じました。気温もかなり下がってきておりますので、体調管理にはお気を付けください。

（寺西 浩一）

2025年12月16日発行

発行	広島西南ロータリークラブ
会長	宮崎 真
幹事	田中 朋博
事務局	広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル13F TEL 082-221-4894 FAX 082-221-4870
編集	会報資料委員会



# 下関海響マラソン

11月2日(日)



## 台北新東ロータリークラブとの 合同ゴルフ大会・懇親会

10月31日(金)~11月3日(月)

